赤穂市大津堂山遺跡試掘調査報告書

山陽自動車道大津インター

昭和５４年３月

兵庫県赤穂市

大　津　堂　山
（試掘調査前）

調　査　風　景

赤穂市大津堂山遺跡埋蔵文化財試掘調査報告

1. 調 査 地　赤穂市大津字堂山　山陽自動車道バイパス通過地

2. 調 査 日　昭和54年1月3日～7日（5日間）

3. 調 査 員　松　岡　秀　夫　　有年考古館々長
　　河　原　隆　彦　　東洋大学附属姫路高等学校教諭
　　谷　崎　良　晴　　神戸野田高等学校教諭
　　松　岡　秀　樹　　兵庫県播磨高等学校教諭
　　松　本　　保　　赤穂西中学校教諭
　　谷　中　　進　　赤穂中学校教諭
　　広　山　堯　道　　赤穂高等学校教諭
　　赤穂市教育委員会・市史編さん室・人夫実21人

4. 調査方法　東西50米、南北30米の調査該当地を10米角に区切り、各区に縦横2米ずつの試掘地を設定、調査した。

5. 調査成績

（A列）

AⅠ　1.30米の深さを8層に区別した。第3層（0.5米）の黒褐色粘土層から、土師弥生式土器の小破片出土。第6層(0.8米)のところに厚さ約0.2米の貝層が発見された。貝類はハイガイを主としていて、時に須恵器の破片を混じている。その下の第7.8層は砂層である。この貝塚は北方に広がっている模様である。

AⅡ　深さ1.3米の試掘穴は5層の地層からなり、第3層の黒褐色粘土層から弥生、土師、須恵、製塩土器等の破片出土。第5層から土師器片出土。

AⅢ　1.8米の深さまで試掘、第3層(0.4米)の黒褐色粘土層から弥生、須恵の破片出土、次の第4.5層からも土器片出土。

AⅣ　1.9米の深さまで試掘、9層に分けられる。第3層から弥生、土師片出土、第4.5層からも土器片出土、第6.7.8層は色を違えた砂層であるが遺物は含まない。遺構なし。

AⅤ　試掘穴は6層の地層からなっている。第5層の褐色砂層から、土師、弥生の破片とサヌカイト製の石包丁出土。遺構なし。

AⅥ　1.2米の深さまで掘る。地層は8層に分かれていて第3層の褐色粘土層から土師破片出土、以下の各層に遺物を含まず。遺構なし。

（B列）

BⅠ　1.0米の深さにて砂層となる。7層の地層を分ち得るも、第3.4.5層のあたり

より、1～2片の土師器片を採取したのみ。

BⅡ　BⅠと同様1.0米の深さまで白砂層となる。第3.4.5層のあたりより少量の土師、弥生片を採取。

BⅢ　前2つのトレンチと同様、1.0米附近にて白砂層となる。第4.5.6層より少量の弥生、製塩土器片を採取す。遺構なし。

BⅣ　1.8米の深さまで発掘、第5層の黄砂層からかなりの縄文土器片出土。遺構なし。

BⅤ　1.8米の深さを5層に分けられるが、第3層の黒褐色土層から須恵器、土師器、土釜片等出土。

BⅥ　1.30米の深さまで掘る。地層は5層に分けられる。最下層の黒砂層から土師縄文片出土。遺構なし。

(C列)

CⅠ　1.5米の深さまで発掘す。地層は5層に分けられる。第3層の褐色土層から摺鉢片、土師器片出土。第4層は褐色砂層で軟かく弾力性である。その下層の黒褐色砂層との間に巾0.15米、長さ約0.5米、厚さ0.03米の板が杭に支えられて立ててあり、この板と0.6米隔てて、更に厚くて長い板がほぼ平行に立てられている。この板はその先端を試掘穴の壁中にはいっていてその全長は測り得ない。
第4層の褐色土層は入浜式塩田の土質に似ていること、板を立てて囲った遺構が発見されたことは重大で、ここに古代塩田の存在を推測せしめるに充分な資料である。

CⅡ　1.2米の深さまで発掘、地層は6層に分けられるが、第3.4.5層の黒褐色土層から白色の山礫に交って、土錘、須恵器、土師器片出土。遺構なし。

CⅢ　CⅡ同様、1.2米の深さにて、淡色砂層となる。地層は5層に分けられる。第3.4層の黒褐色土層から須恵器、土師器片出土。

CⅣ　1.2米の深さまで掘る。地層は6層に分けられる。第3.4.5層の黒褐色の礫交りの層から黒褐色砂層にいたる間に、円筒埴輪片、弥生式土器片、須恵器片、布目瓦片が出土、須恵器には底に糸切紋を有するものが交っている。

CⅤ　1.5米の深さまで掘る。地層は6層に分けられる。同じく第3.4.5層の黒褐色の礫刻の層から黒褐色砂層にいたる間に円筒埴輪片、弥生式土器片、須恵器片、土師器片、土錘等が出土した。遺構はない。

CⅥ　1.5米の深さに掘る。地層は同じく6層に分けられ、耕土、客土を除いた第3層の黒褐色の土層から、弥生前期の土器片、土師器片、須恵器片、布目瓦片が出土、須恵器には底に糸切紋を存するものが交っている。

（Ｄ列）

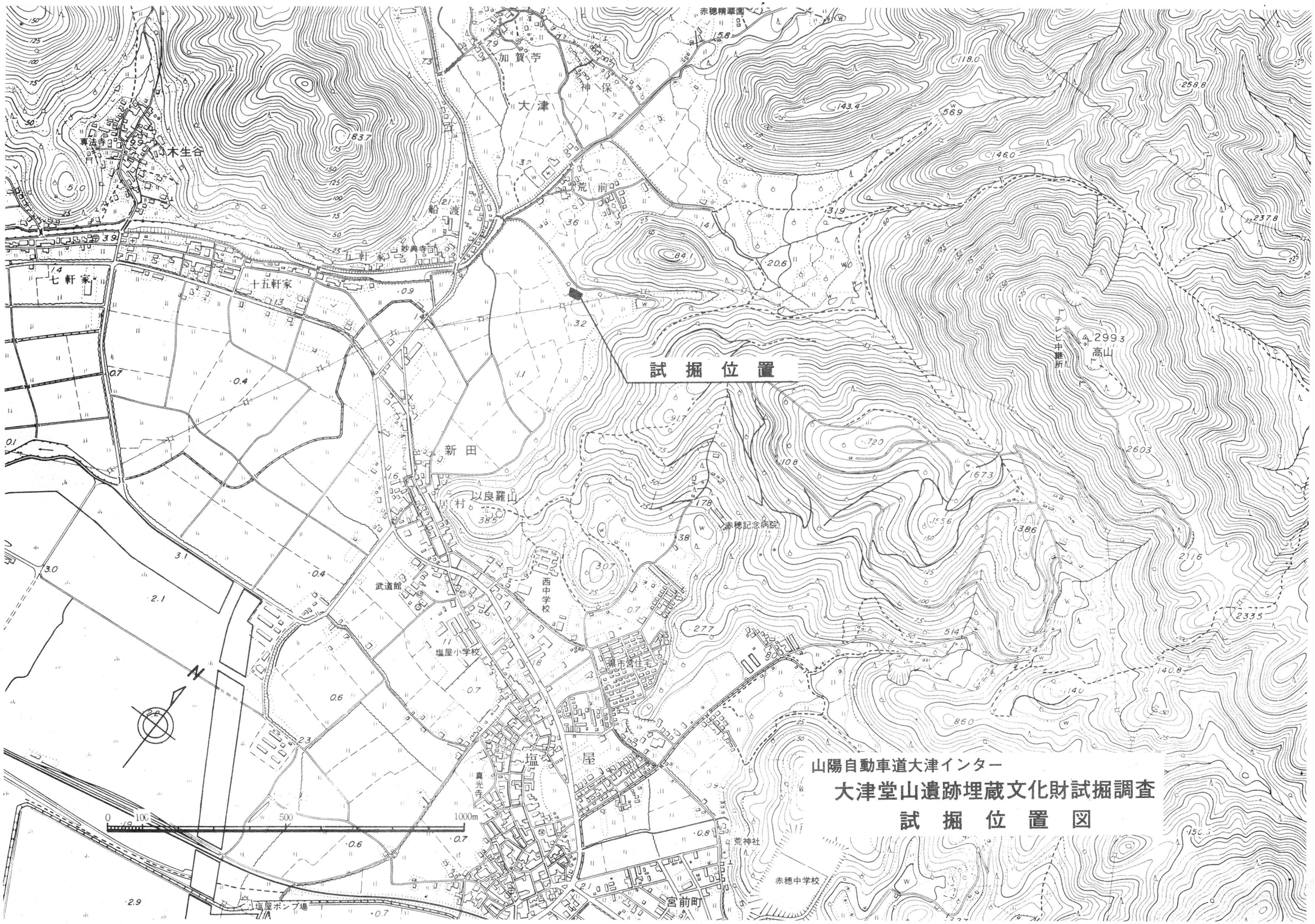
Ｄ４　約0.5米の深さまで発掘したが、湧水多く作業中止。出土物なし。

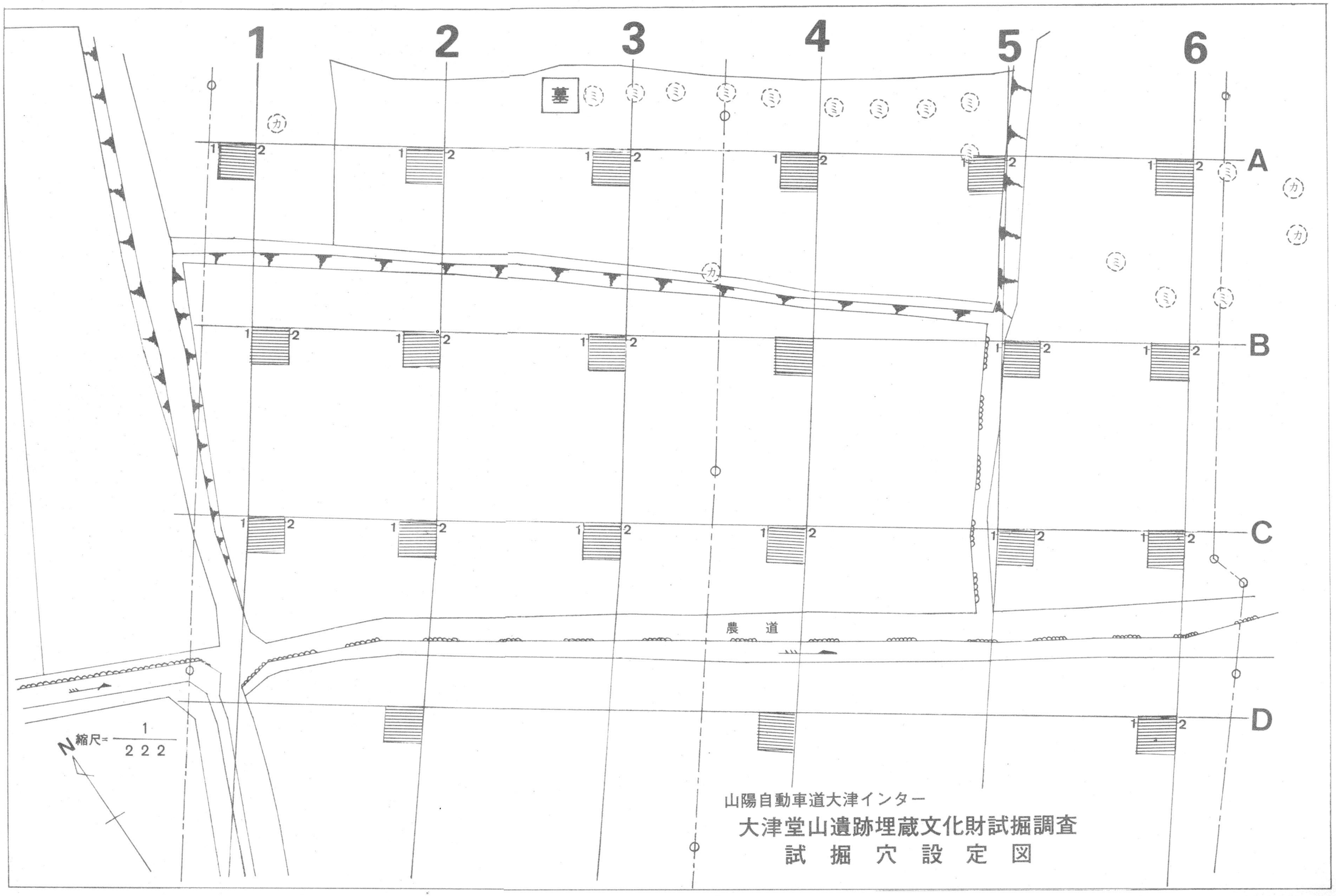
Ｄ６　0.6米の発掘において、湧水多く作業困難となる。地層は６層に分けられ、第３層の黒褐色土層から須恵器、土師器の小片が多数出土。この層に流木も埋れていた。遺構は発見されず。

以上20ケ所の試掘調査において得たる主な所見は、第一にＡＩにおいて発見された古墳時代とみられる貝塚の発見である。この貝塚はなお北方へ広がっているものと見られ、全面発掘調査が必要である。第二にはＣＩトレンチにおける板囲いの遺構の発見である。この板囲いの遺構が何を意味するかを明らかにすることは、この板囲いのある土層が、入浜式塩田の土層と相似ていることと併せ考えて、あるいは古代塩田の遺構にあらずやの推測をなさしめるものである。これを明らかにするために更に拡大して板囲いの遺構の完全調査と、塩田土層と相似た土層の全面追求のために、全面発掘調査の必要を痛感する次第である。なお、前期弥生式土器と製塩土器の発見は赤穂地方最初のもので、考古学上からみてその意義は大きいものである。

右報告いたします。

発掘責任者　　松　岡　秀　夫

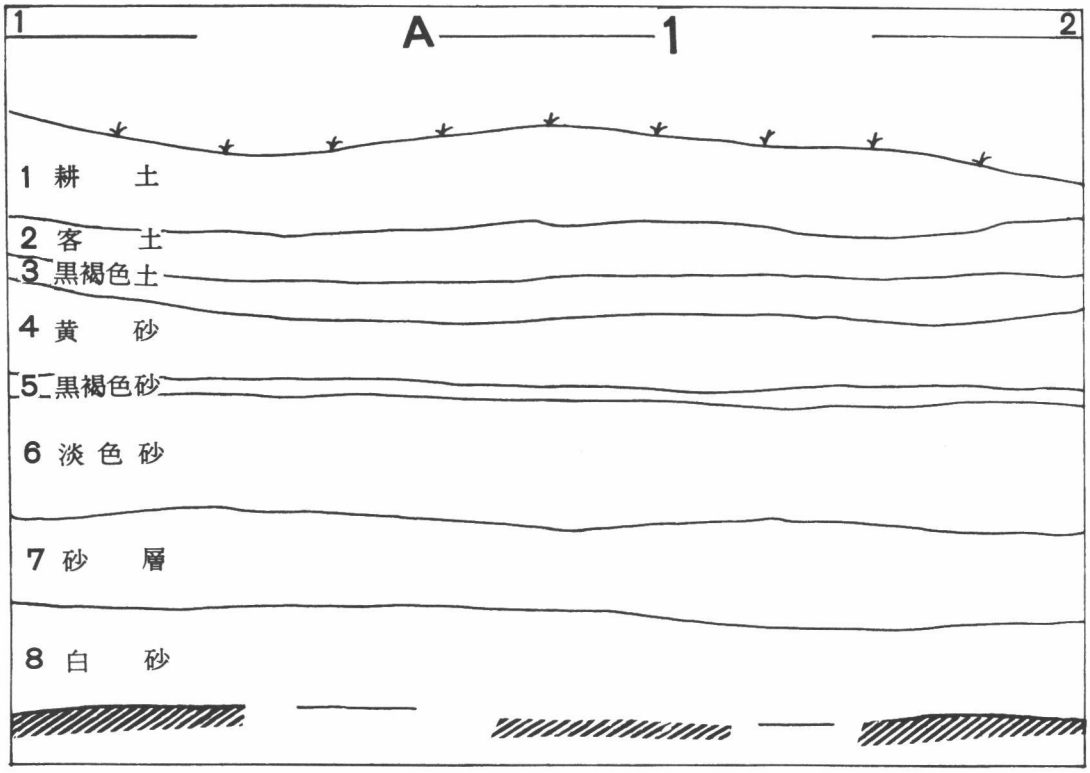

試掘位置
山陽自動車道大津インター
大津堂山遺跡埋蔵文化財試掘調査
試掘位置図
赤穂精華園
加賀苧
神保
大津
荒前
船渡
木生谷
専法寺
妙典寺
五軒家
七軒家
十五軒家
新田
以良羅山
居村
赤穂記念病院
武道館
西中学校
塩屋小学校
県市営住宅
塩屋
真光寺
荒神社
赤穂中学校
宮前町
塩屋ポンプ場
テレビ中継所
高山
N
0 100 500 1000m

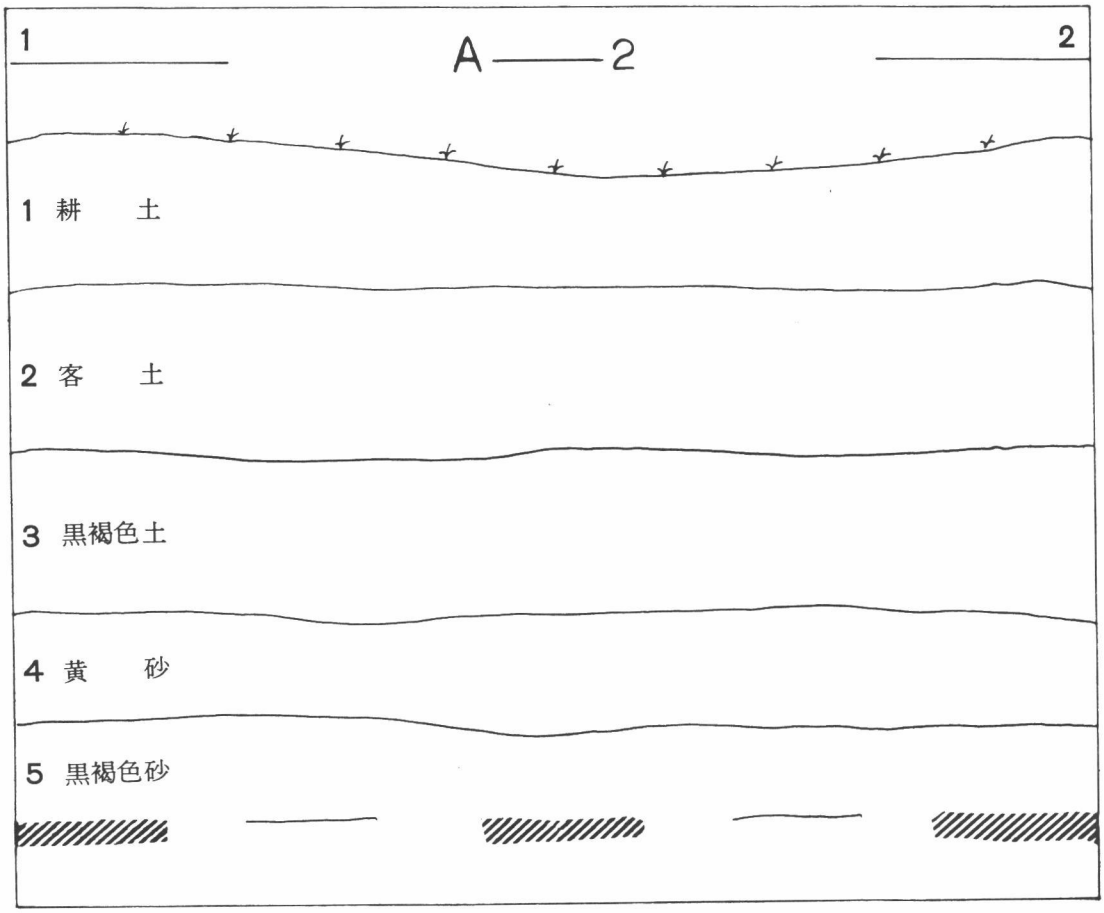


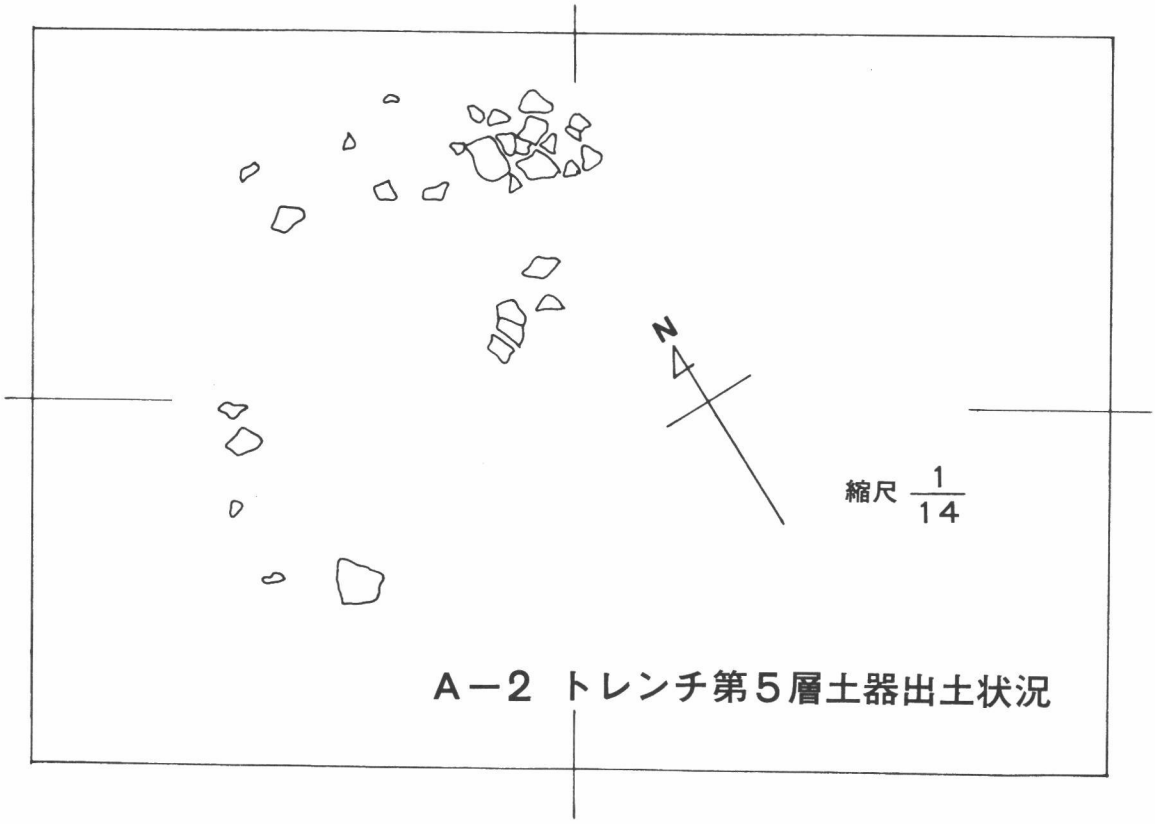
山陽自動車道大津インター

大津堂山遺跡埋蔵文化財試掘調査

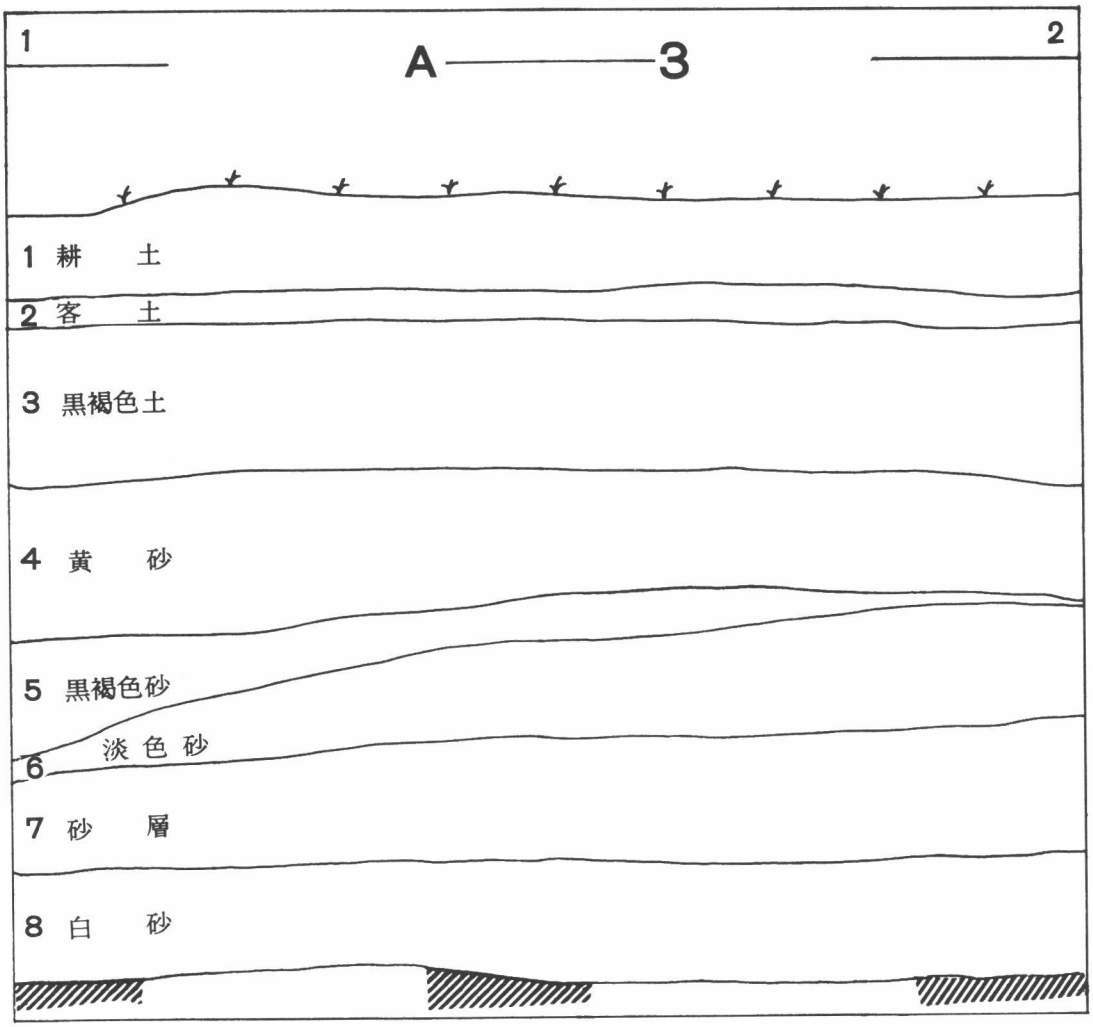
試　掘　穴　設　定　図

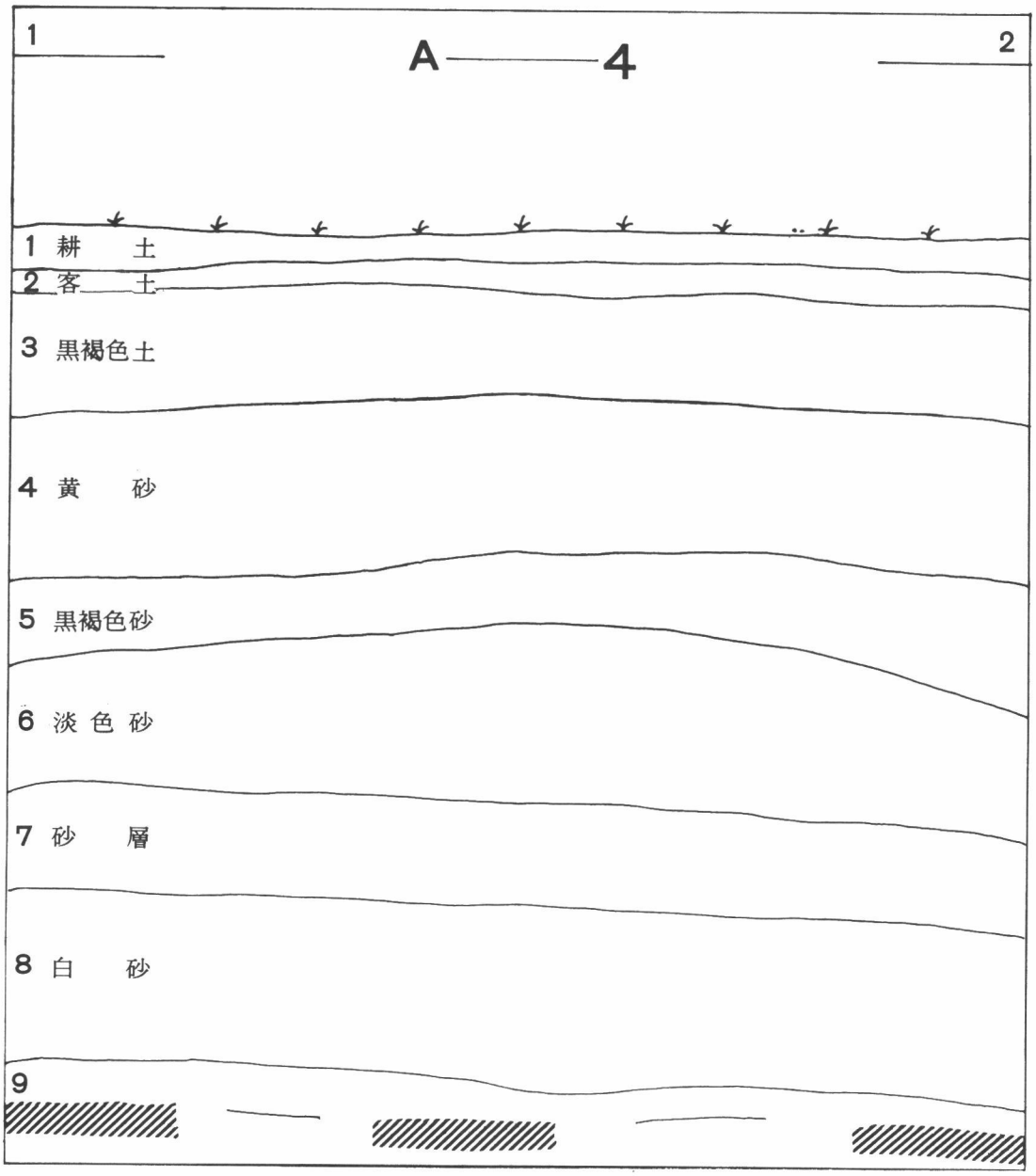

1
A
1
2
1 耕　土
2 客　土
3 黒褐色土
4 黄　砂
5 黒褐色砂
6 淡色砂
7 砂　層
8 白　砂

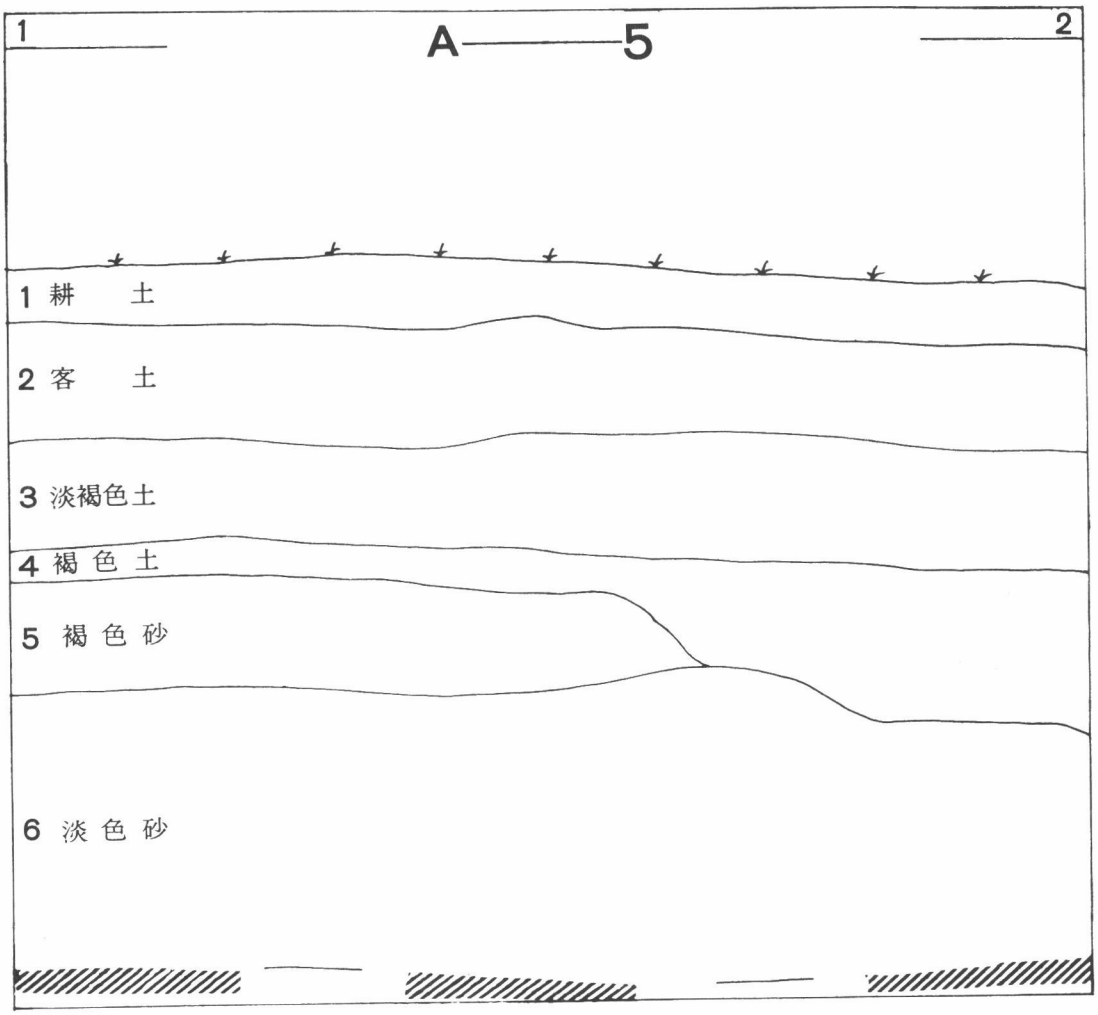

1
A——2
2
1 耕　土
2 客　土
3 黒褐色土
4 黄　砂
5 黒褐色砂

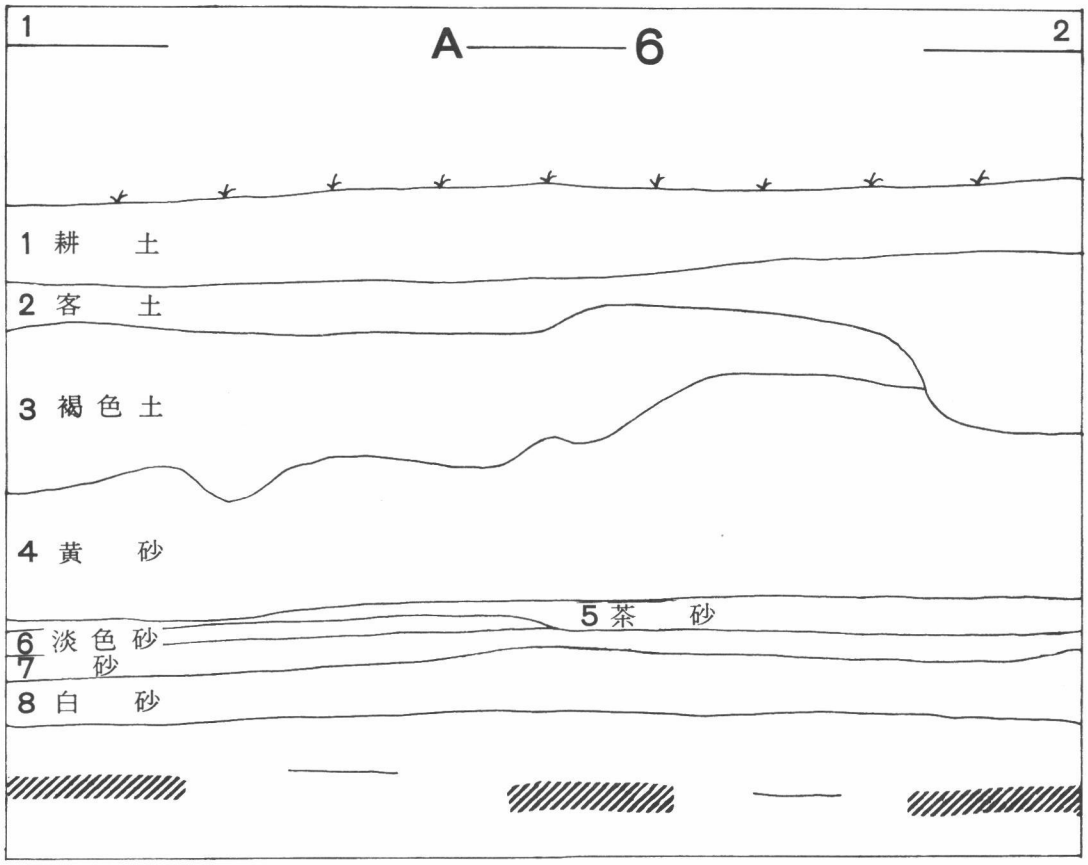


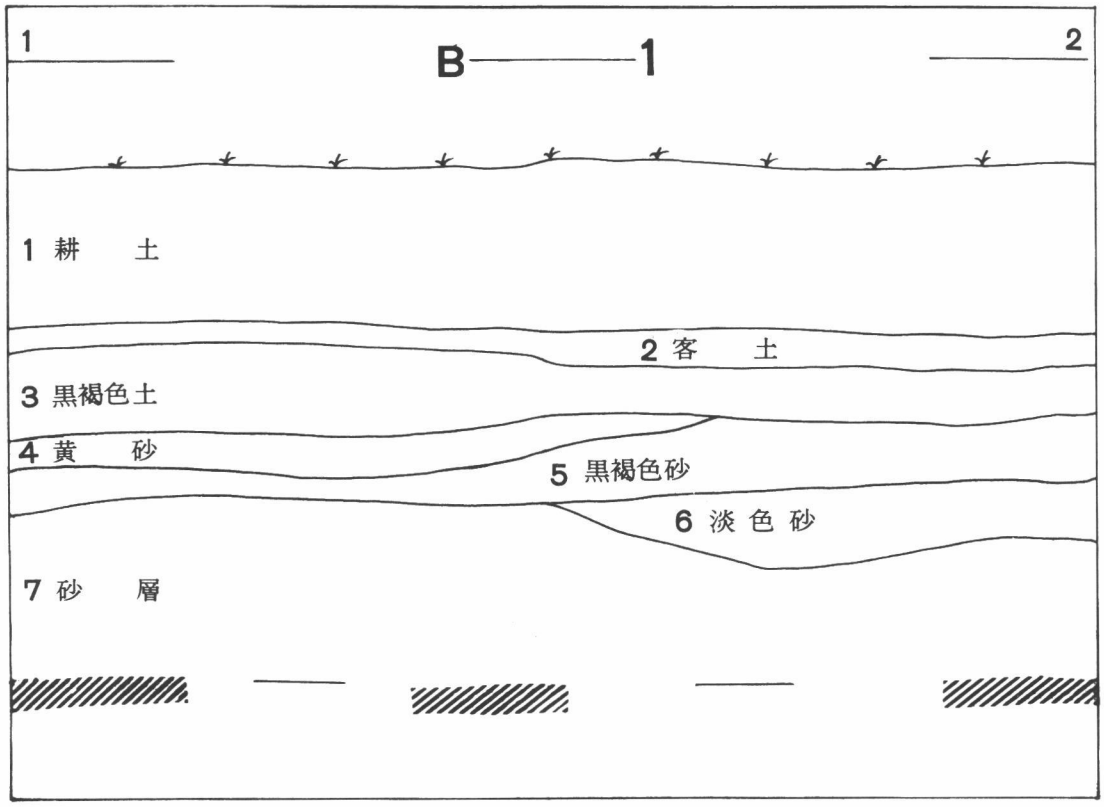
A－2 トレンチ第５層土器出土状況

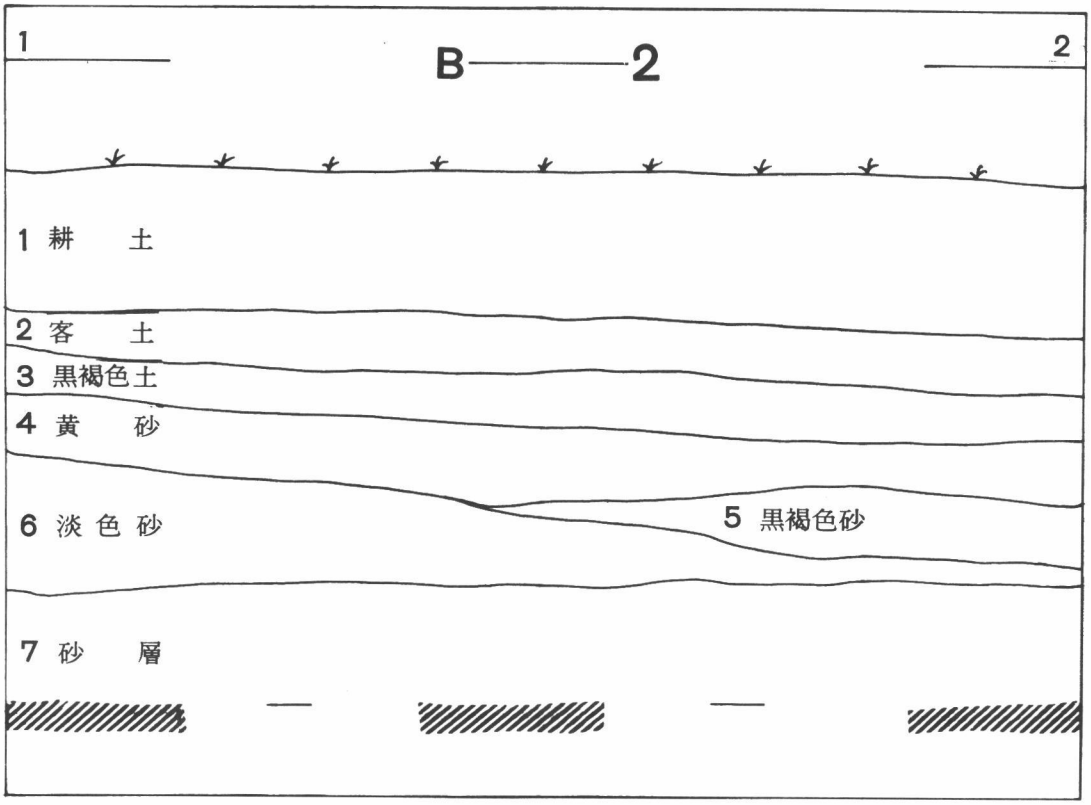

1
A
3
2
1 耕　土
2 客　土
3 黒褐色土
4 黄　砂
5 黒褐色砂
6 淡色砂
7 砂　層
8 白　砂

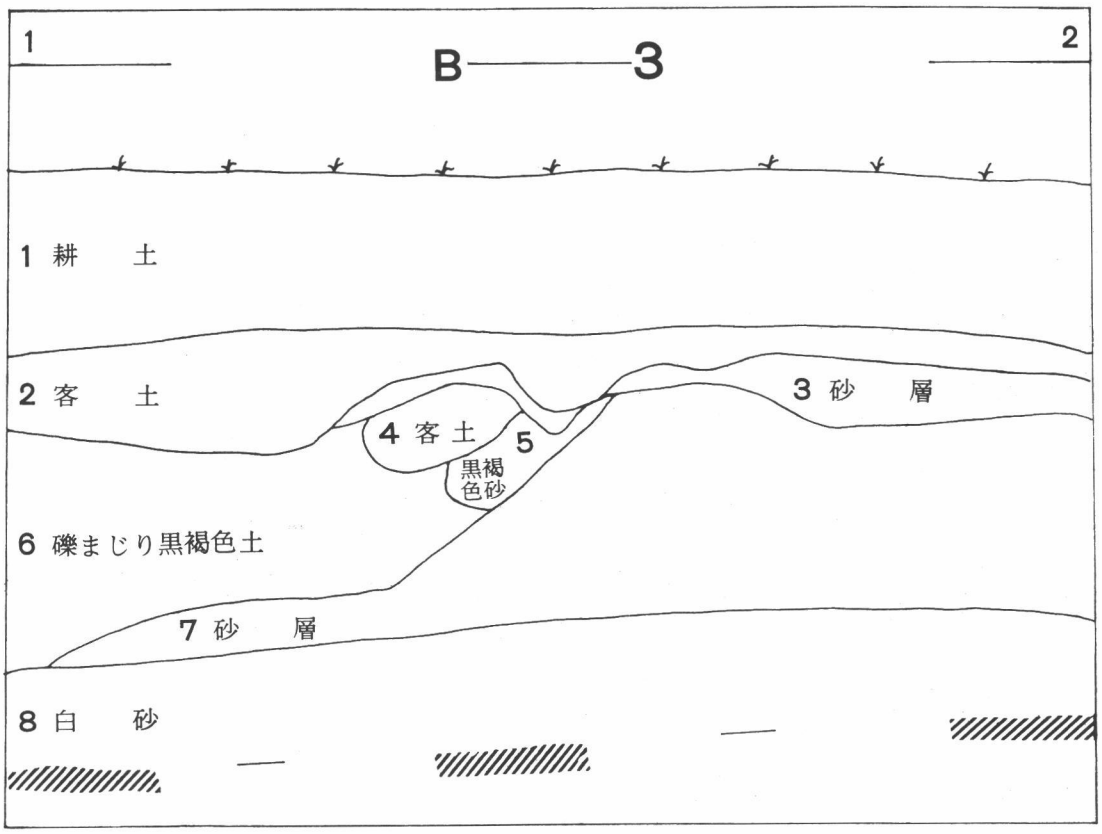

1
A
4
2
1 耕　土
2 客　土
3 黒褐色土
4 黄　砂
5 黒褐色砂
6 淡色砂
7 砂　層
8 白　砂
9

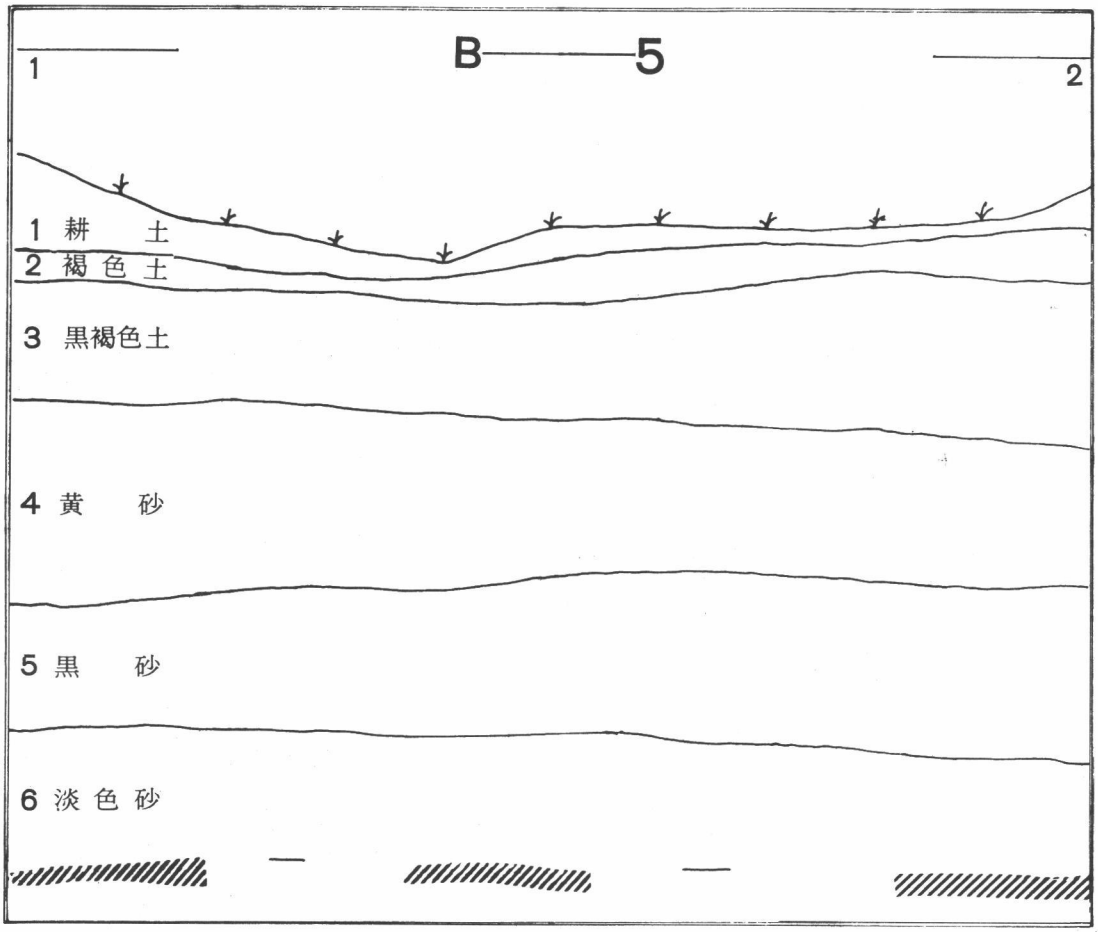

1
A
5
2
1 耕　土
2 客　土
3 淡褐色土
4 褐 色 土
5 褐 色 砂
6 淡 色 砂

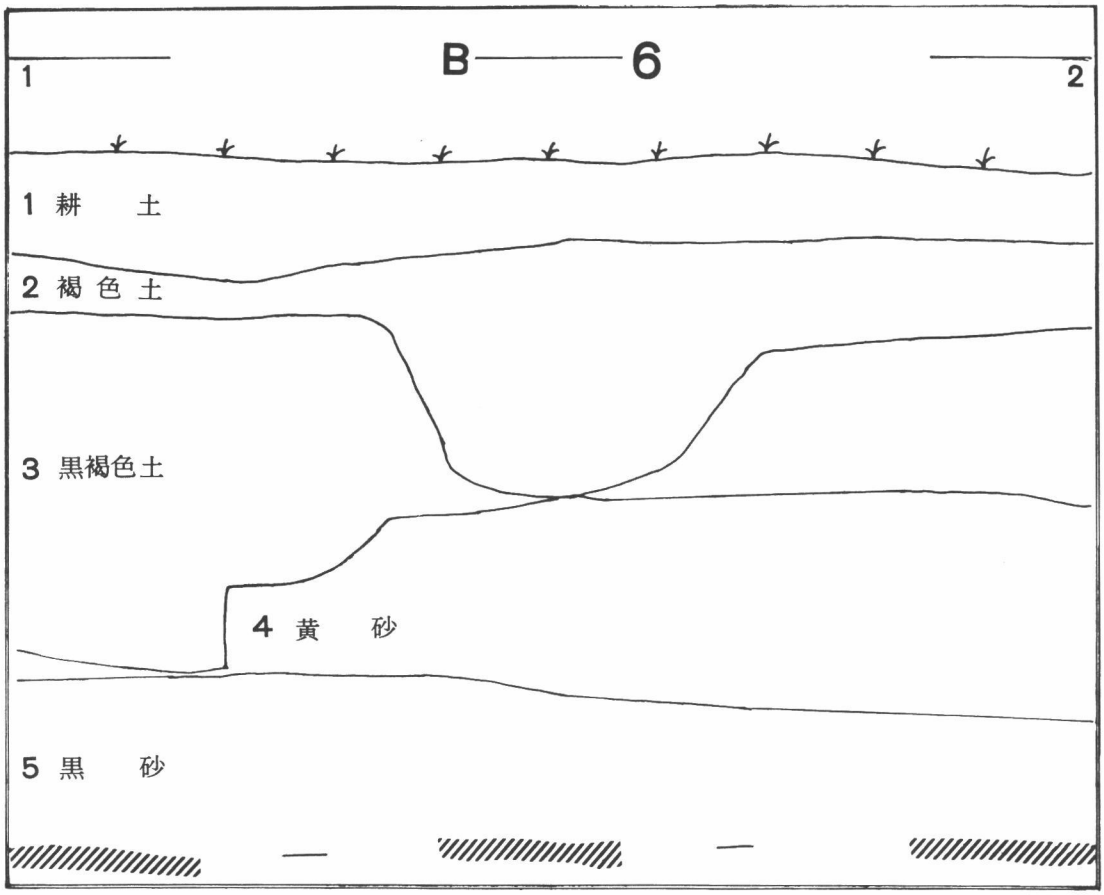

1
A
6
2
1 耕　土
2 客　土
3 褐色土
4 黄　砂
5 茶　砂
6 淡色砂
7 砂
8 白　砂

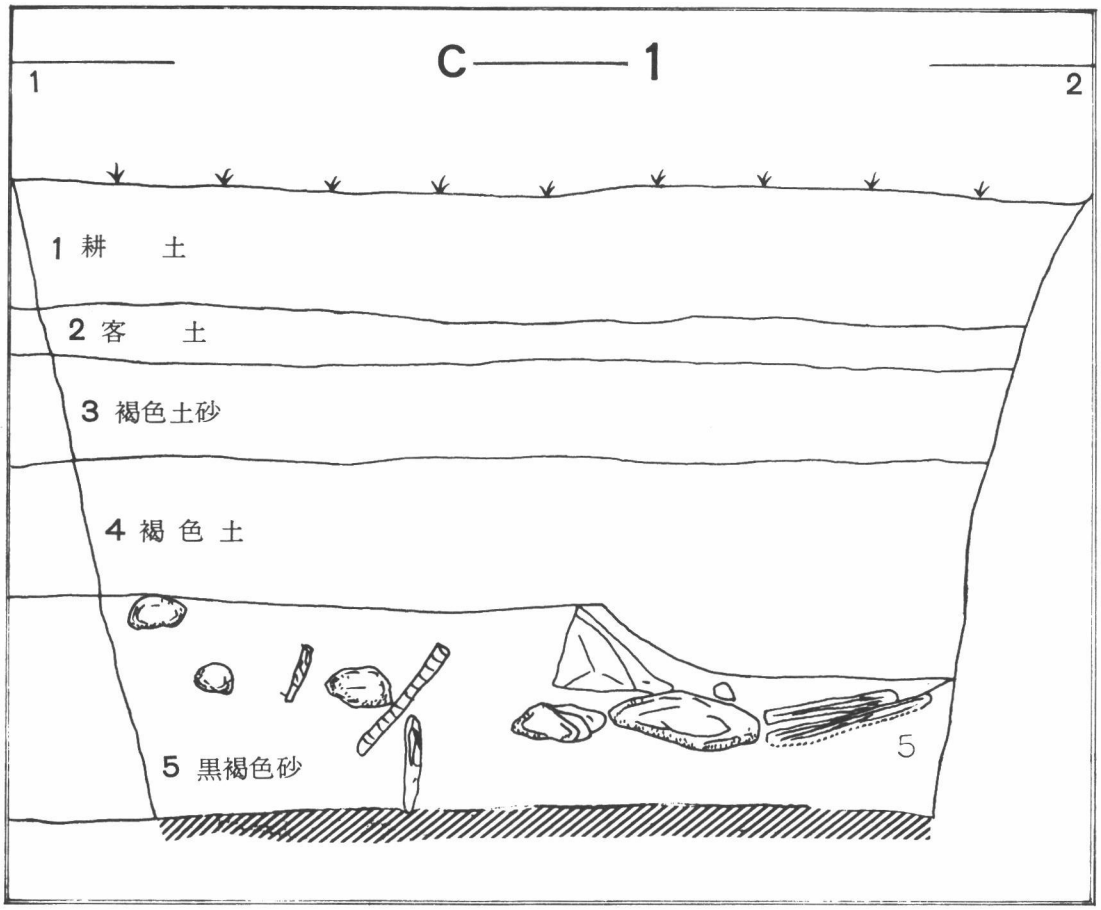

1
B
1
2
1 耕　土
2 客　土
3 黒褐色土
4 黄　砂
5 黒褐色砂
6 淡 色 砂
7 砂　層

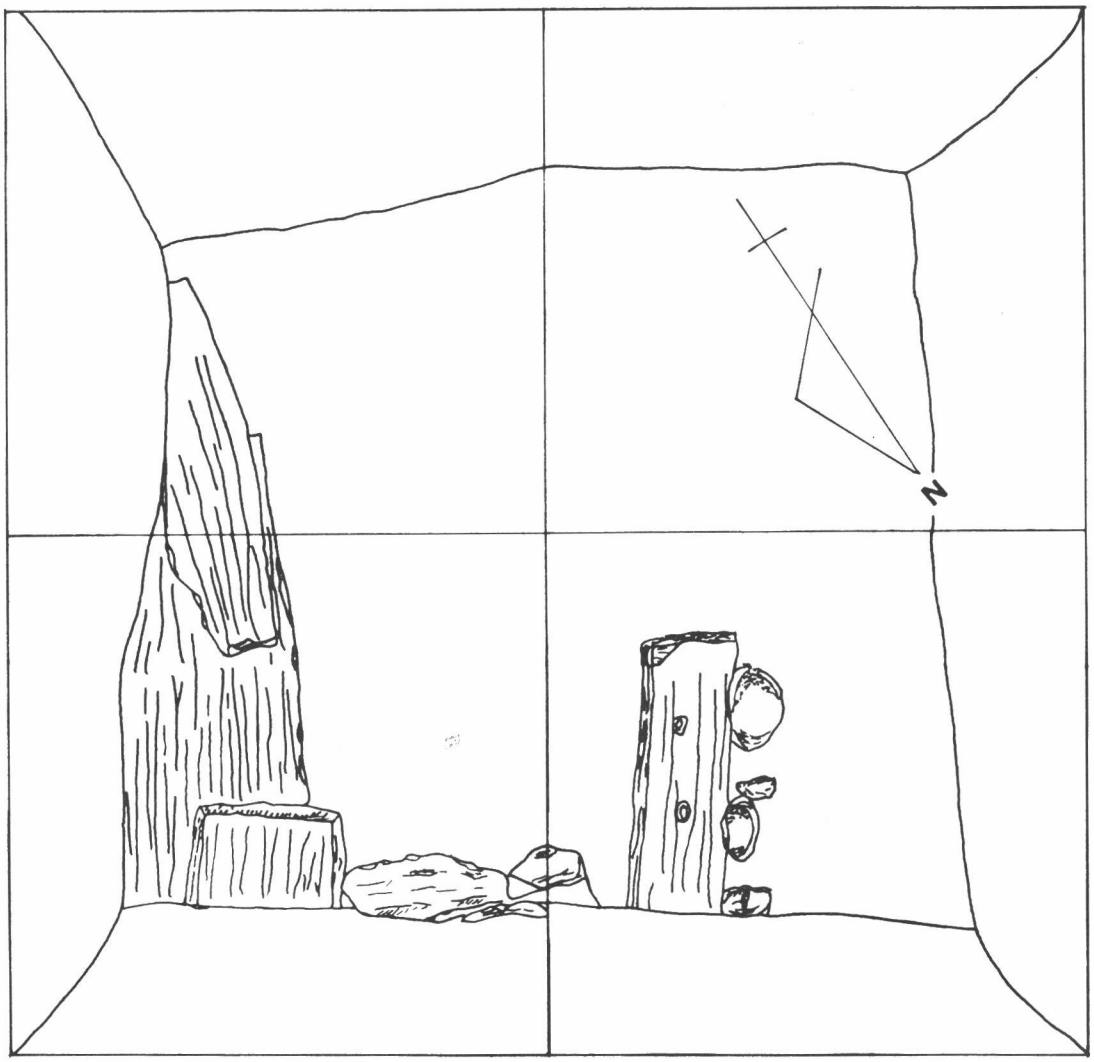

1
B
2
2
1 耕　土
2 客　土
3 黒褐色土
4 黄　砂
6 淡色砂
5 黒褐色砂
7 砂　層


1
B
3
2
1 耕　土
2 客　土
3 砂　層
4 客 土
5
黒褐色砂
6 礫まじり黒褐色土
7 砂　層
8 白　砂


B——5
1
2
1 耕　土
2 褐色土
3 黒褐色土
4 黄　砂
5 黒　砂
6 淡色砂


B 6
1
2
1 耕 土
2 褐 色 土
3 黒褐色土
4 黄 砂
5 黒 砂

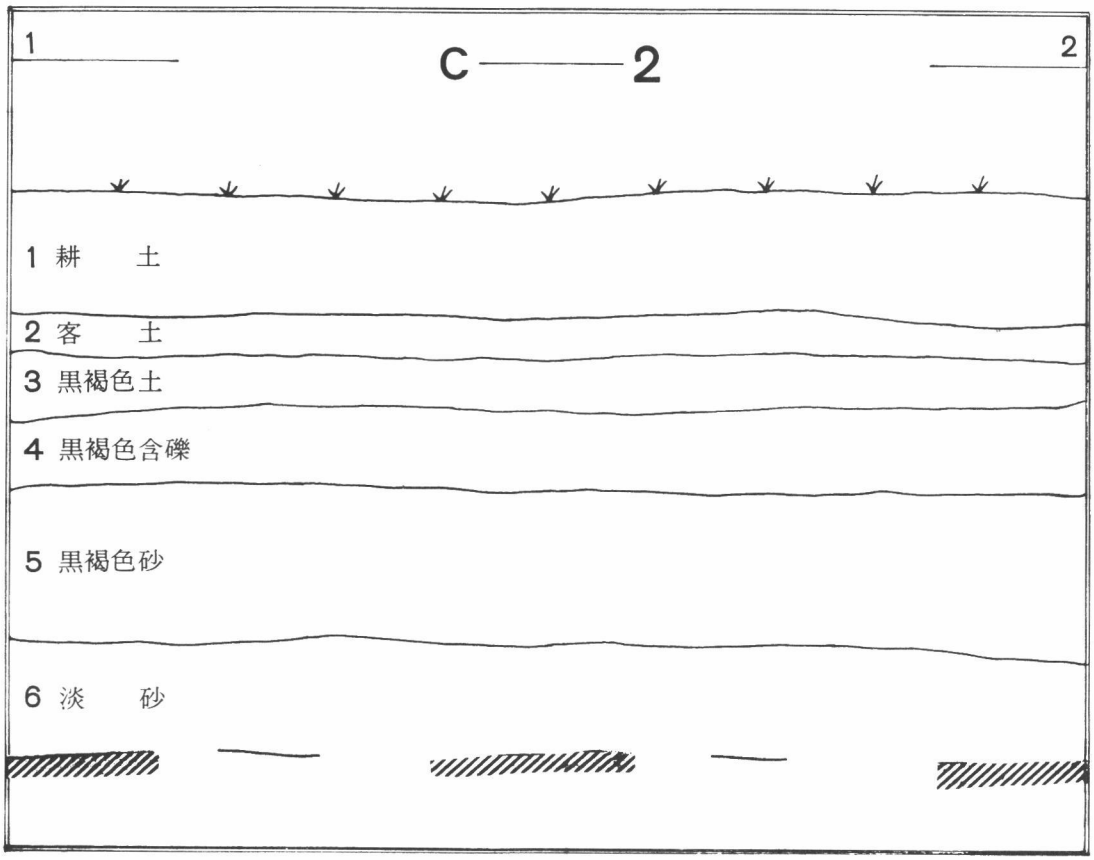

C——1
1
2
1 耕　土
2 客　土
3 褐色土砂
4 褐 色 土
5 黒褐色砂
5

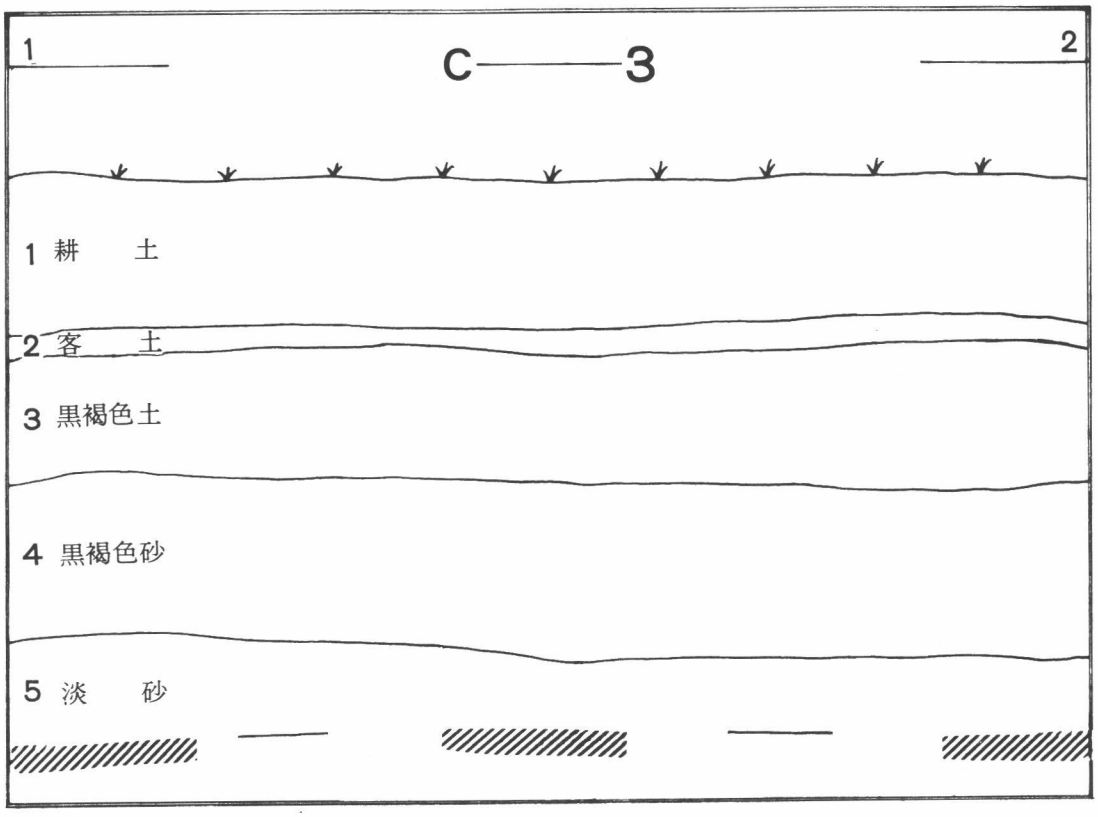


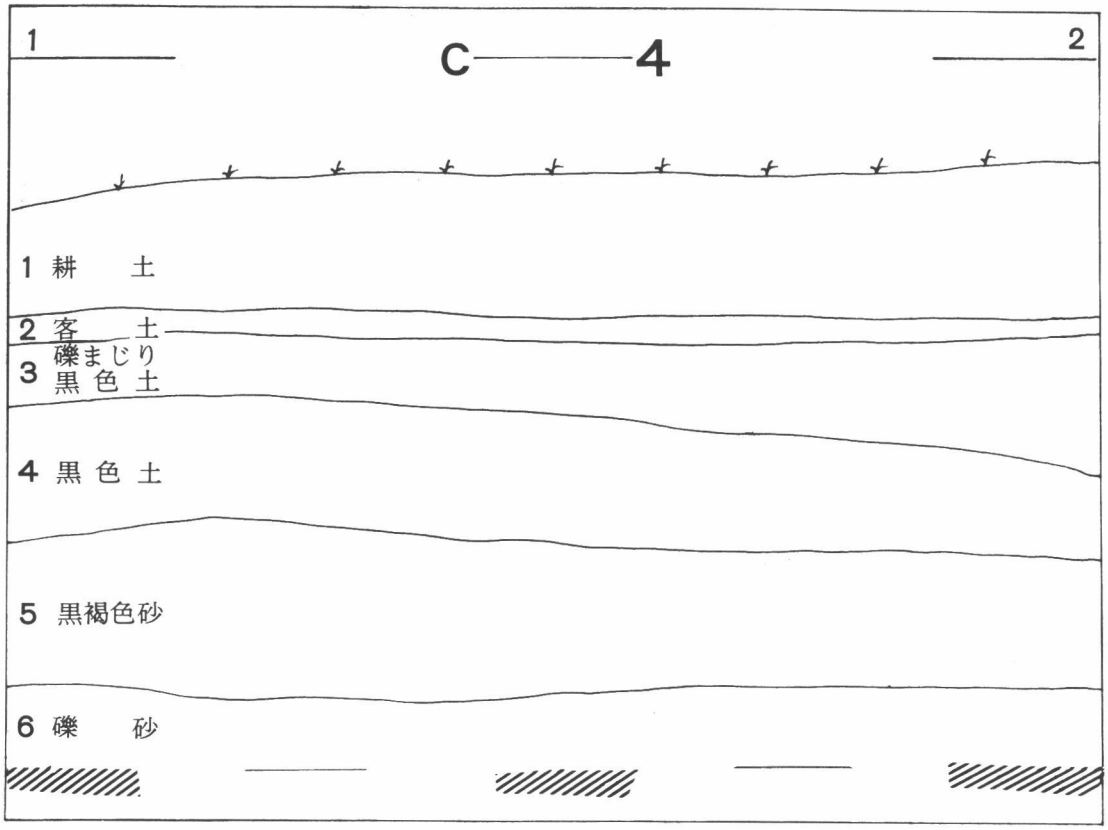
1
14

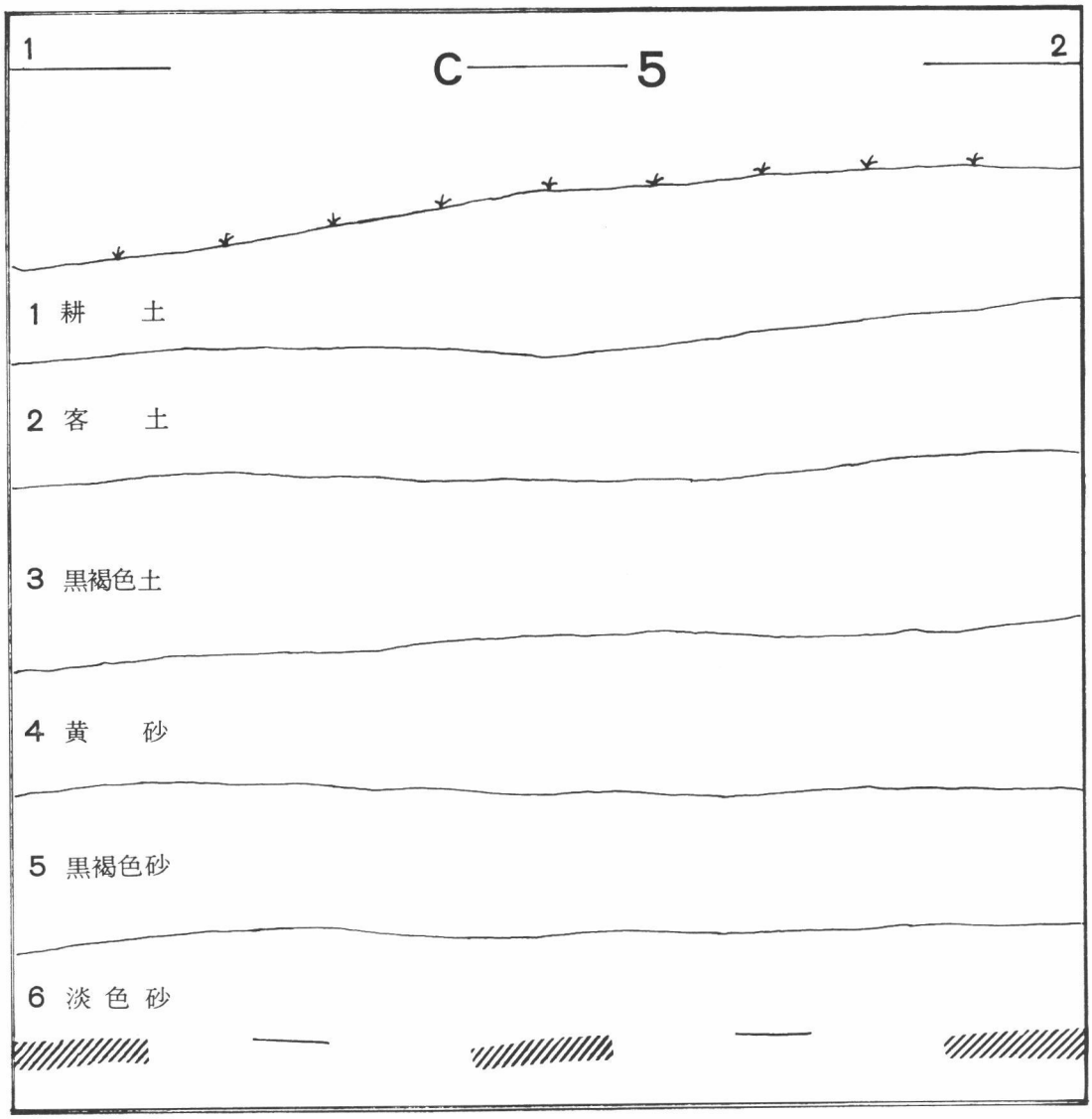
山陽自動車道大津インターチェンジ
大津堂山遺跡埋蔵文化財試掘調査

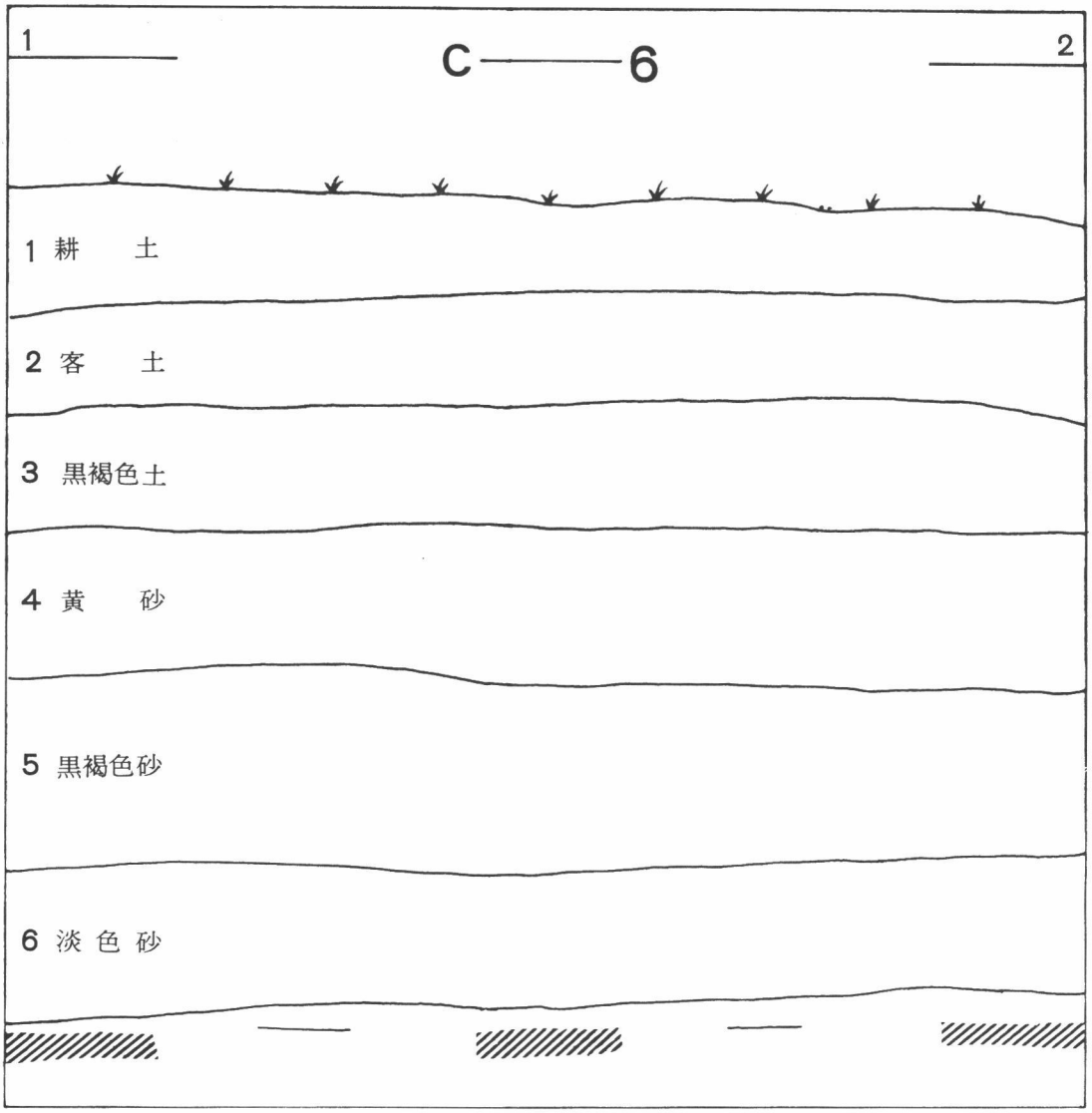
C－1 第5層 材 木 出 土 状 況

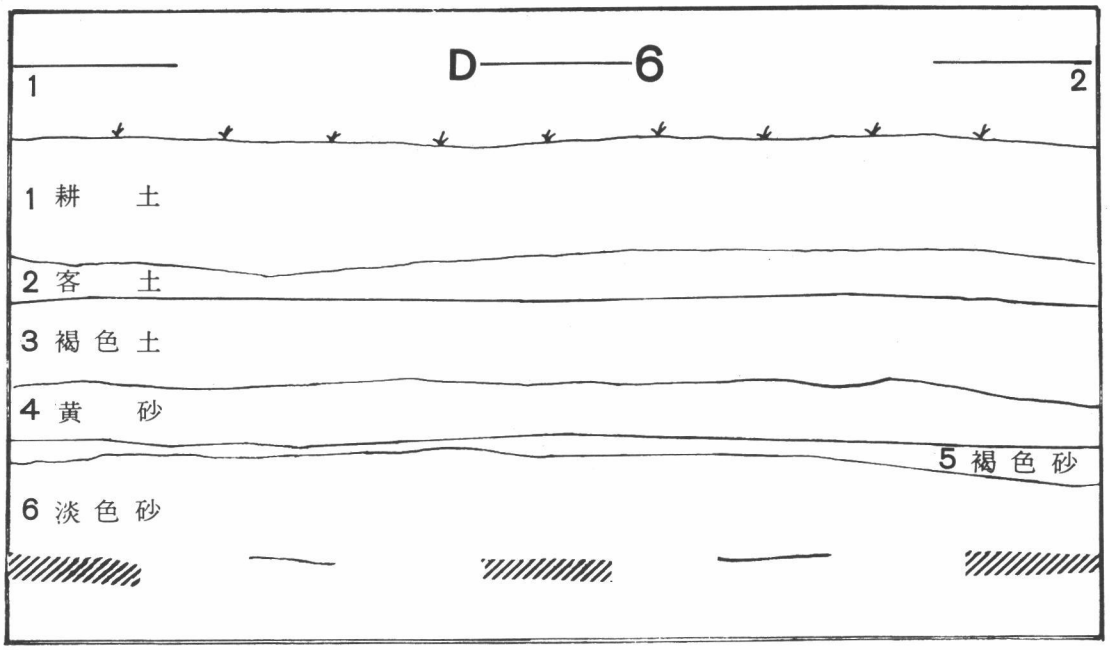

1
C
2
2
1 耕　土
2 客　土
3 黒褐色土
4 黒褐色含礫
5 黒褐色砂
6 淡　砂


1
C
3
2
1 耕　土
2 客　土
3 黒褐色土
4 黒褐色砂
5 淡　砂


1
C
4
2
1 耕　土
2 客　土
3 礫まじり
黒 色 土
4 黒 色 土
5 黒褐色砂
6 礫　砂

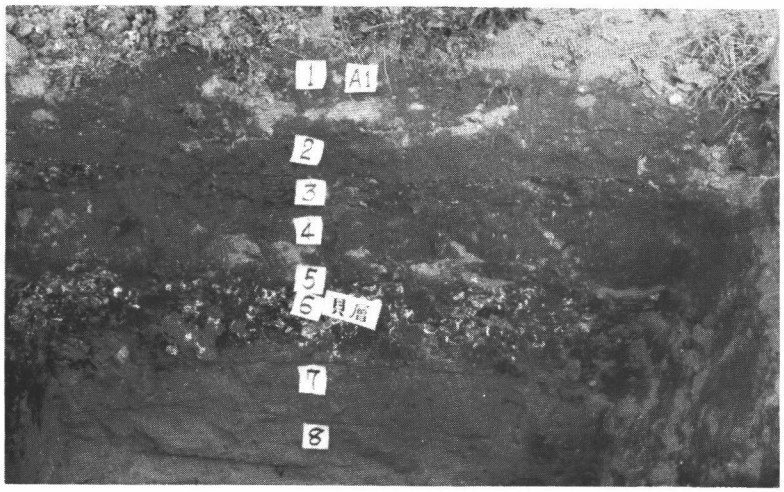

1
C
5
2
1 耕　土
2 客　土
3 黒褐色土
4 黄　砂
5 黒褐色砂
6 淡 色 砂


1
C——6
2
1 耕　土
2 客　土
3 黒褐色土
4 黄　砂
5 黒褐色砂
6 淡 色 砂

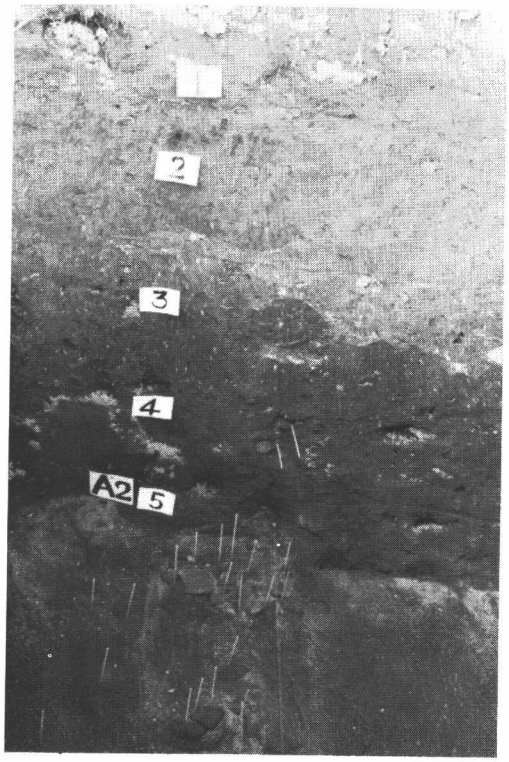

D——6
1
2
1 耕　土
2 客　土
3 褐色土
4 黄　砂
5 褐色砂
6 淡色砂

大津堂山遺跡試掘調査写真

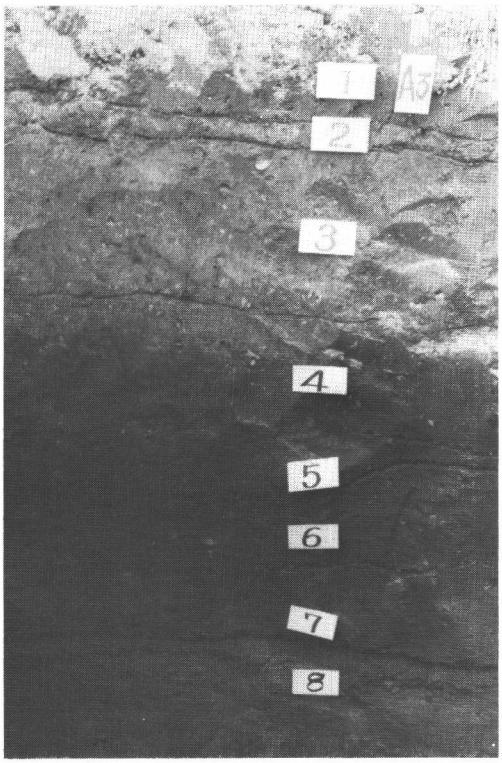
兵 庫 県 赤 穂 市



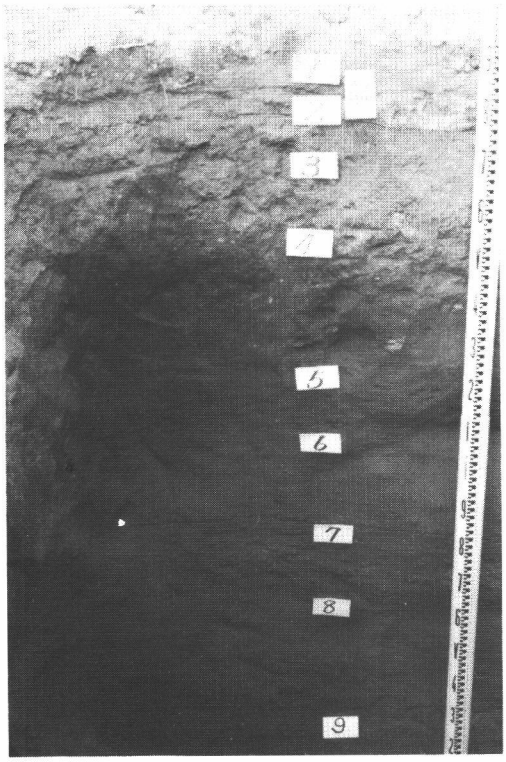
A－1



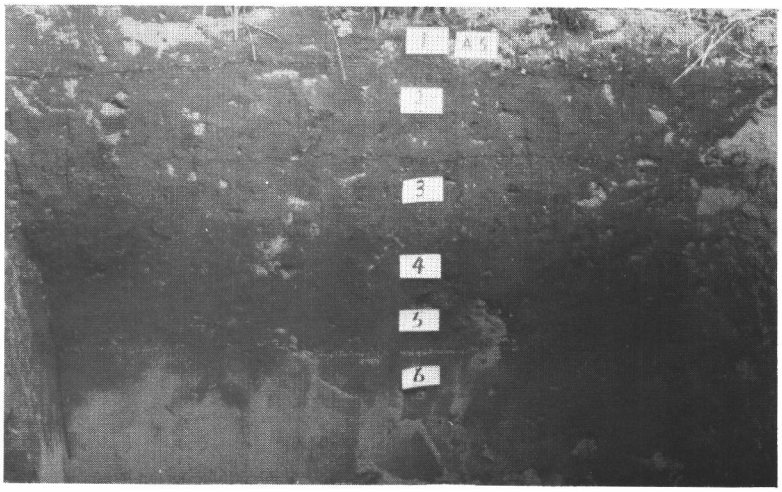
A－2



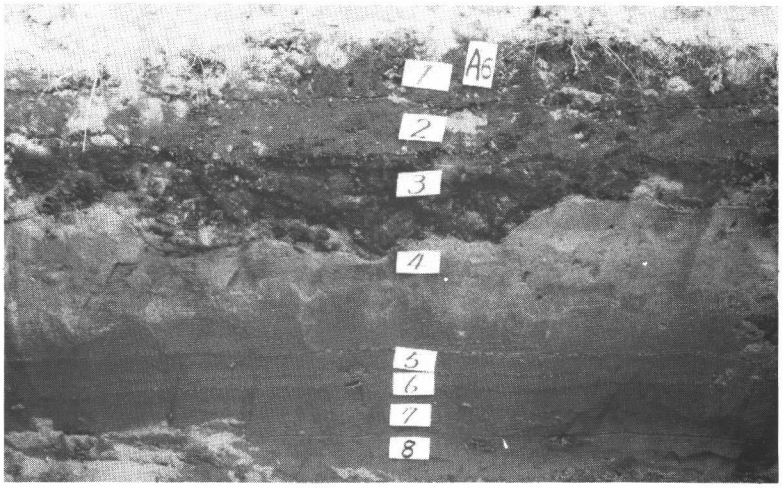
A－3



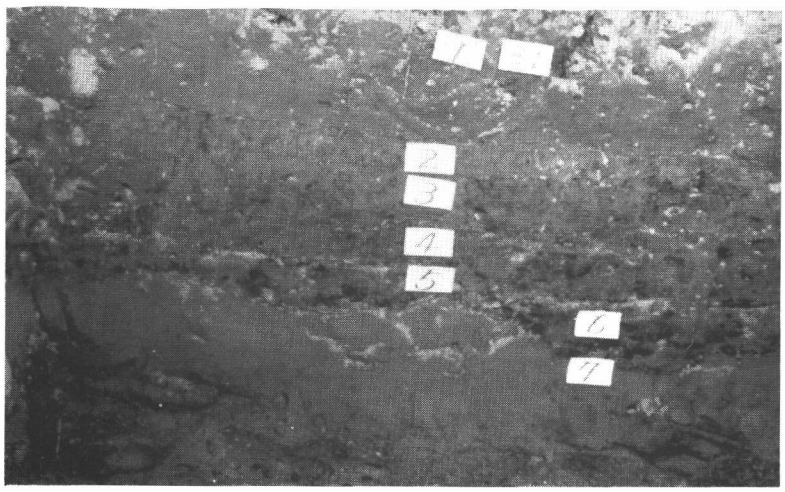
A－4



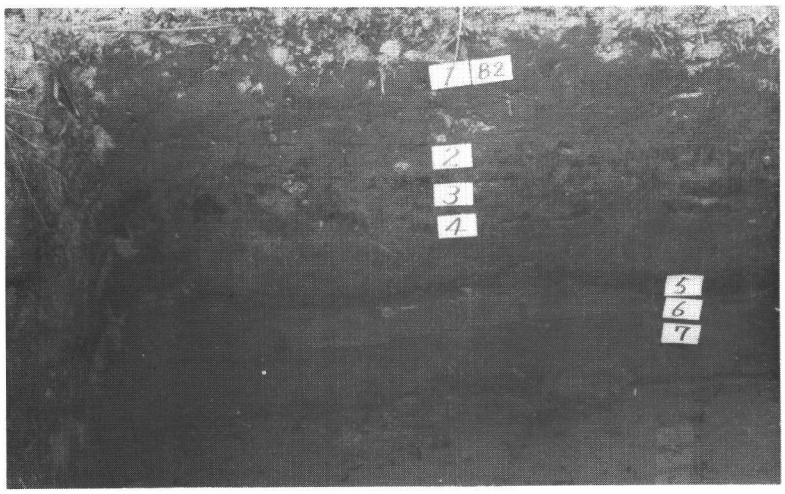
A－5



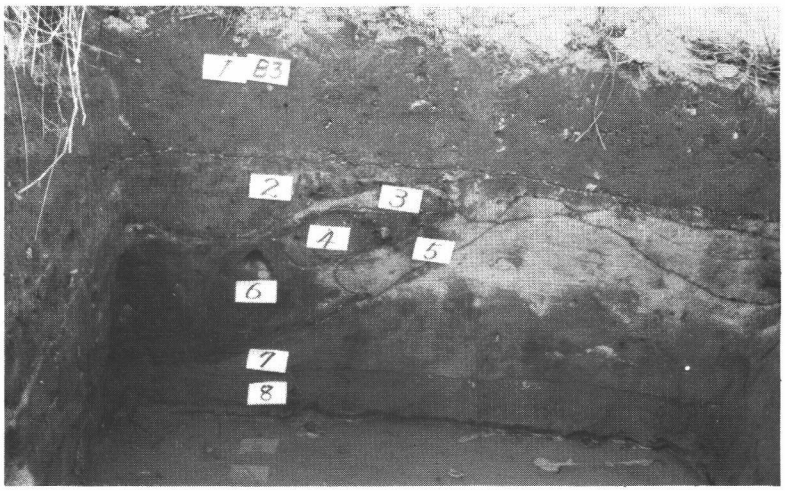
A－6



B－1



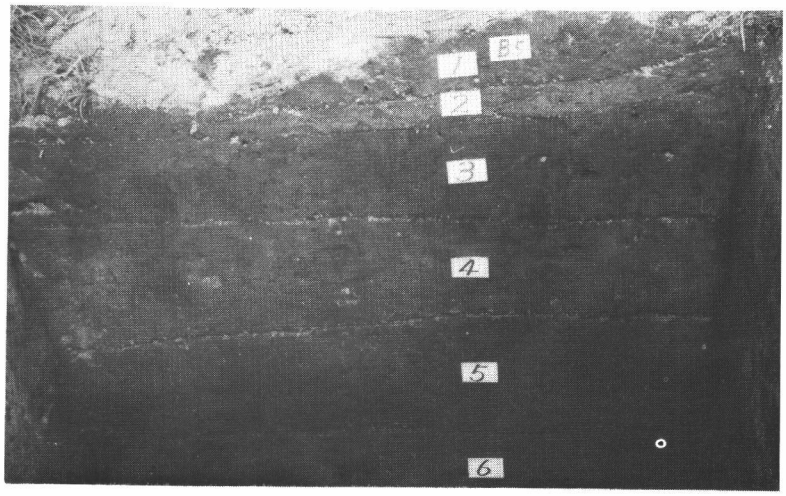
B－2



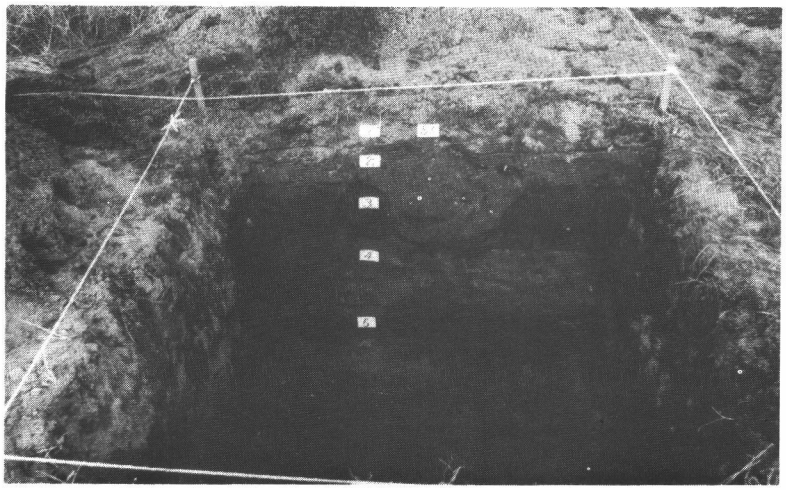
B－3

壁が崩れて撮影不能

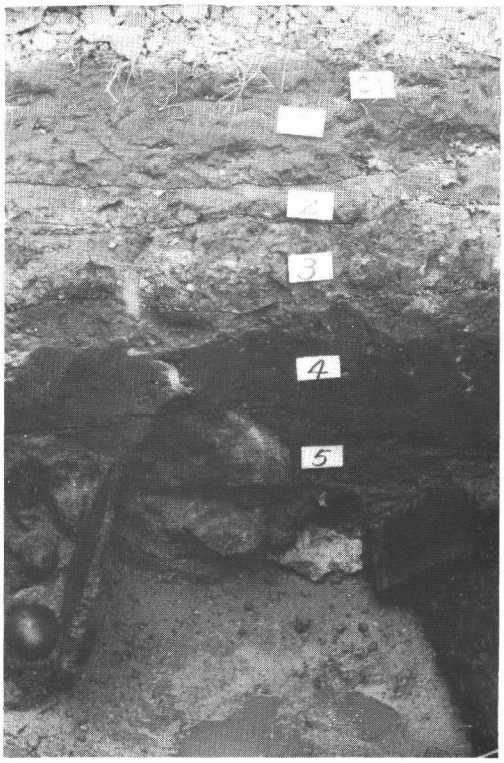
B－4



B－5

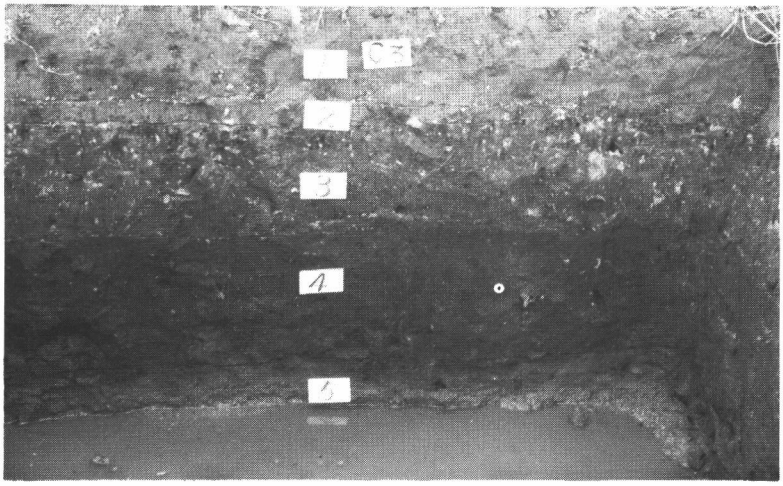


B－6

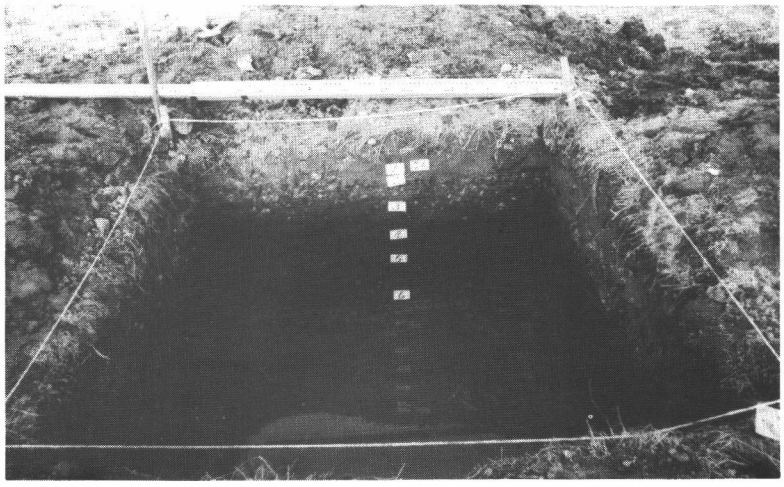


C－1

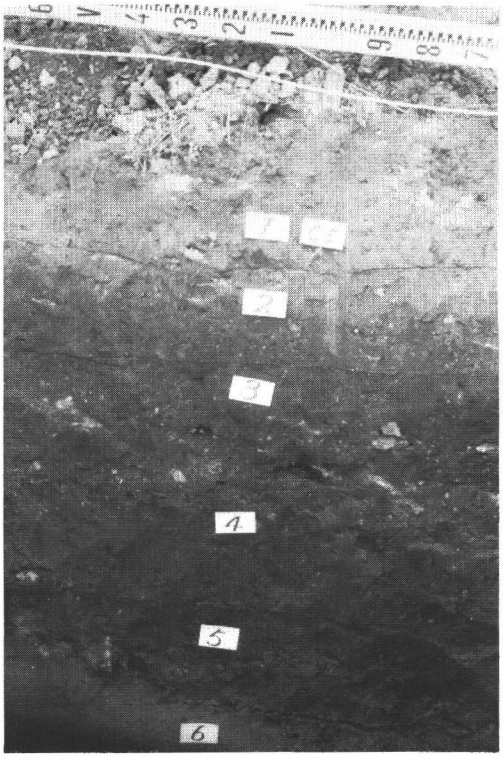
C－2



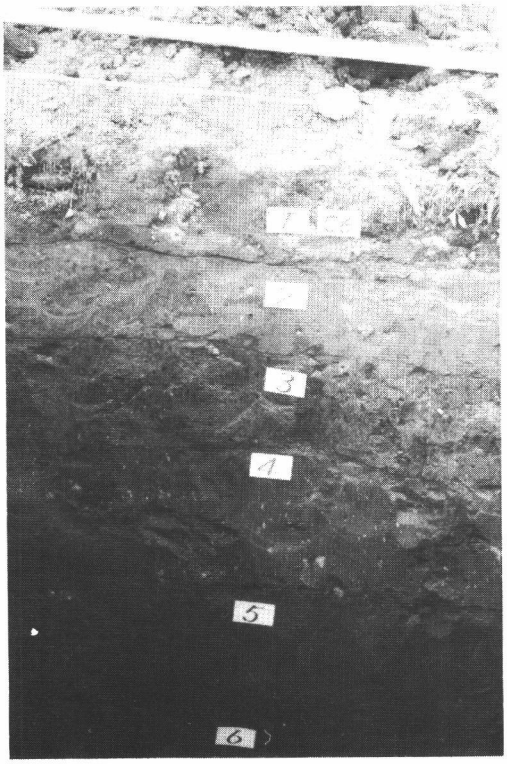
C－3



C－4

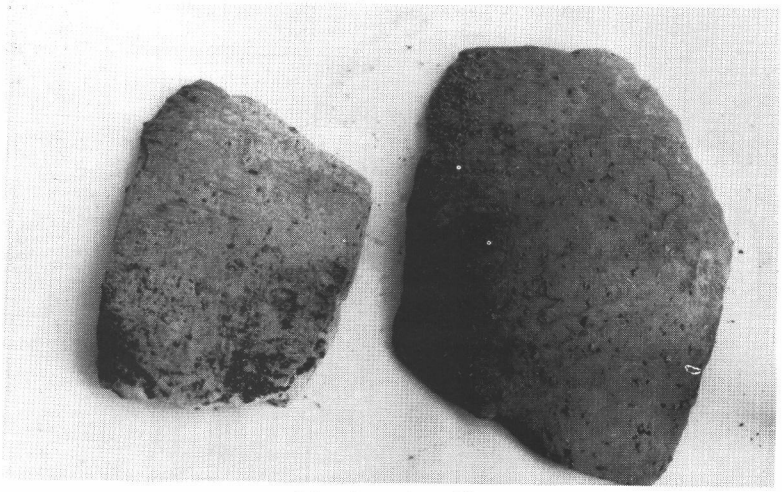


C－5

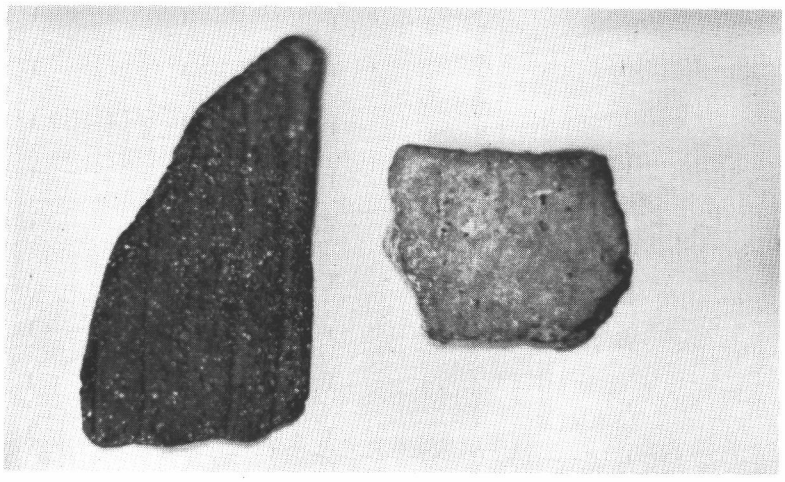


C－6

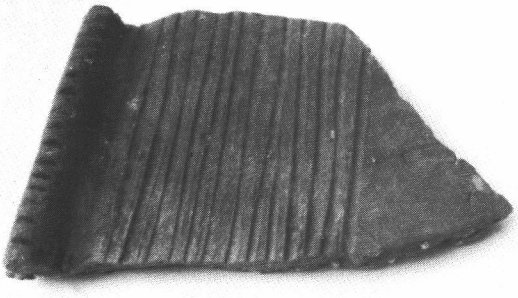
D－4
D－6 } 撮影不能



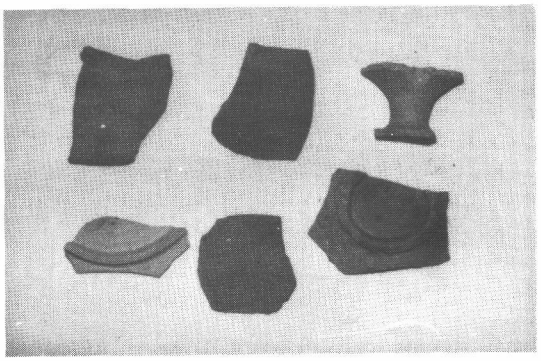
製 塩 土 器



縄 文 式 土 器

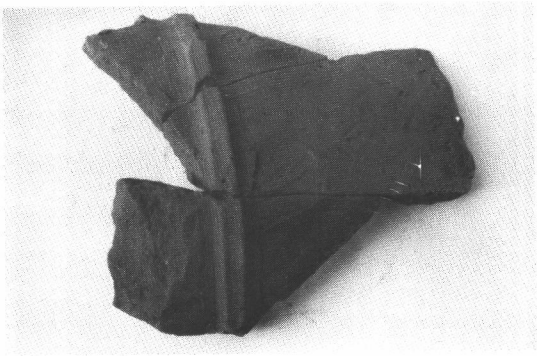


弥生(前期)式土器

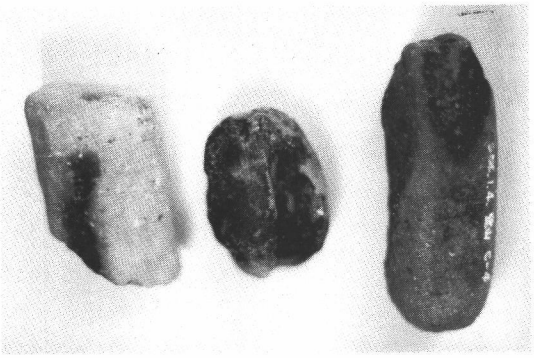


須　恵　期

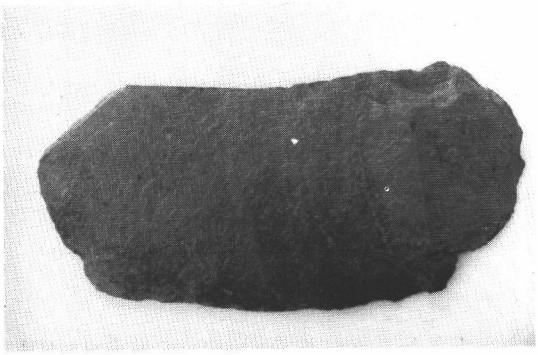
土　師　器



円　筒　埴　輪



土　　錘



石　包　丁

本データは全国遺跡報告総覧において公開するため、
赤穂市教育委員会生涯学習課文化財係が編集・作成したものです。

データ編集・作成　赤穂市教育委員会　生涯学習課　文化財係
〒678-0292　兵庫県赤穂市加里屋 81 番地
TEL：0791-43-6962　FAX：0791-43-6895

令和元年（2019 年）10 月 1 日　データ編集・作成